

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	17110
政策名(章)	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます	評価担当部	市民部
基本施策名(節名)	第1節 市民主体のまちづくり	評価担当課	市民相談課
施策名	個性豊かな地域づくり	課長名	小野栄治

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

市民の市政への理解を深めたり、市民ニーズを把握するため、地域市政懇談会や市政世論調査、わたしの提案等の事業を行っており、市民相談事業においては、法律相談等市民の様々な悩み事相談を実施して、豊かで安心して生活ができるよう市民の立場に立った事業を展開している。また、地域活動の活性化のために、地域市民まつりの助成、自治会活動功労者表彰を行っている。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		23,245	
人件費		27,532	
市民一人あたりの事業費	1,674	76	
合計	1,031,302	50,777	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

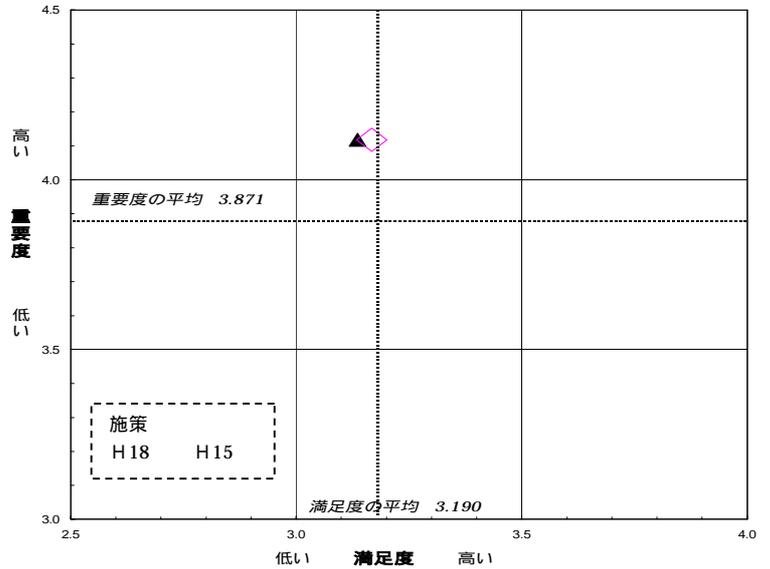
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	相談実施率(法律相談・外国人相談)(%)	相談件数 / 相談枠数	89.6%	16
指標2	市民まつり参加率	市民まつり参加人数 / 総人口	19.90%	16
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	3,003	19	94%	21	96%	事業の有効性を図るため、事業内容を精査して目標値を96%に設定
達成率	2,973					
指標2	183,913	19	30%	21	30%	平成17年度の目標値を採用
達成率	118,256					
指標3						
達成率						
指標4						
達成率						
指標5						
達成率						

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.167で51施策の中で27番目。  
 重要度は4.118で13番目である。  
 改善要望度は0.1912で15番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。  
 重要度は、60歳代以上で高く、40、50歳代で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、60歳代で前回調査より大幅に上がり、50歳代で大幅に下がっている。  
 重要度の順位では、30、60歳代で前回調査より上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	市民相談事業において相談実施率が約90%となっており、これを限りなく100%に近くような方法を検討して、より効果の高い事業実施を推進する。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	市民相談課では税務相談や登記相談等12の相談事業を行っているが、7つの相談業務については相談を担当する団体に協力していただき、市の経費負担なしで行っている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	地域市政懇談会やわたしの提案等の事業で市民のニーズを把握したり、市民相談事業において市民の様々な悩み事相談を実施して市民サービスの向上を図り、市民の立場に立った事業を展開している。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民相談は、生活の細かい部分まで専門家が相談に応じており、質の高い相談を提供しているが、反面、専門過ぎて、利用の少ない窓口もある。
解決策	相談窓口の利用の実態を分析し、利用の少ない相談窓口は開催回数を削減する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標が施策目的と適合していない。施策体系、構成事務事業の見直しが必要である。	2次評価 B
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



